

全校保護者様

国府台小学校 校長 井上 栄

感染症に係る学校対応等が随時発信されていた経緯やいくつかのご質問が寄せられたことを踏まえまして、改めて学校と保護者で共通理解したいことをまとめました。今後の対応での確認・参考としてください。

なお、以下の文面での感染症とは新型コロナウイルスの感染症を指します。

- 1 本校で陽性確認児童が発生した際、「習い事に行くことや弟妹の通園は控えたほうが良いのか」との問合せがありましたが、申し訳ないのですがこの件についての判断は、受入側（施設・団体）の長が定めた基準により、個々に判断して頂きたいと考えます。

それぞれの集う子供の年齢構成や活動内容などにより基準や考え方は様々であり、本校で可否を判断すべきではない（してはいけない）ためとなります。

- 2 上記1に伴い、本校における児童の登校可否基準について確認いたします。登校の見合わせをお願いする基準は、「児童本人や同居の家族が、濃厚接触者に指定された場合（COCOA アプリの接触連絡を含む）や少しでも感染症に見られる症状がある場合」となります。そのため、例えば父母の勤務先や兄弟姉妹の学校等で感染者が判明した場合には、登校の見合わせを要請するケースとはなりません。但し、濃厚接触者には（未だ）指定されていないが感染者と非常に近い係わりがあったり、感染者とマスク無しでの会話があったりした場合などは、その程度によりご家庭で判断頂くこととなります。

これらの基準は市のガイドラインに沿ったもので、校長としても妥当な基準と考え本校でも採用しており、この時の登校見合わせは、出席停止扱いとし、欠席日数には計上されません。

なお、上記「 」内の基準にあてはまる場合の登校見合わせは、早い段階で確実に行って頂かないと、感染判明の際、遡っての登校状況がその後の対応に大きく影響しますので、よろしく願いいたします。

3 学校への報告依頼事項についても確認いたします。「児童本人や同居の家族が濃厚接触者に指定された場合（COCOA アプリの接触連絡を含む）や PCR 検査を受けることになった場合」は速やかに学校報告をお願いします。

但し、職種により定期的な PCR 検査を実施している場合は除きます。

4 学校から保護者への情報提供の基準は、「児童及び教職員が PCR 検査で陽性と判明した場合と、教職員が PCR 検査を受けた場合」となります。

公表内容は、判明や受検の事実となりますが、経緯や症状についても必要に応じ加えることとなります。

5 感染の疑い等が発生した場合のシステムの流れについて説明します。

① PCR 検査の実施は大別しますと「保健所が症状や濃厚接触者として実施」と「保健所の指示以外として病院等で実施（心配なので任意で実施等）」になります。

② いずれも陽性確認がされると、保健所は濃厚接触者の有無の確認のため行動履歴の調査を行います。

③ 保健所調査で濃厚接触者が確認された場合、保健所から直接、濃厚接触者に連絡が入り、PCR 検査の実施を指示されます。（ほとんどのケースで家族は濃厚接触者になります）そのため学校は誰が濃厚接触者なのかがわからず、上記 3 の学校への報告依頼をしている次第です。

また濃厚接触者の指定は追加で行われることもあるため、「あくまで現段階での濃厚接触者は～」となります。

④ 学校は集めた情報を基に教育委員会等の関係機関と協議し、休校・消毒・独自の PCR 検査などの実施可否を決定していきます。

なお、ここでの独自の PCR 検査とは、保健所が濃厚接触者として指定していないが念のため市が独自の判断で実施するもので、学年や学級単位で学校にて実施するのがこれにあたります。

以上、よろしく願いいたします。